

# 生涯学習だより

◎ 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

第2回町民大学(10月7日開催)で、「松田の大地の成り立ち」について、生命の星・地球博物館の学芸員 西澤文勝さんにご講演いただきました。

## 1 県西部の地学的な特徴

県西部は、山、丘、盆地、平野、川、浅い海から急激に深くなる海、そして火山といった、本当にバリエーションに富んだ大地です。

現在も、フィリピン海プレートが動く力により、丹沢山地は隆起し、足柄平野は沈んできています。さらに、この土地は、地表の浸食と堆積がともに活発な場所で、地形変化の速さが地球上で最大級であるという点

## 2 松田山と足柄平野

松田町は、丹沢山地、大磯丘陵、秦野盆地に隣接する起伏のある土地です。

松田町のある丹沢山地は、主に1500万年前頃から海底火山とその周辺に堆積した古い地層からなる「丹沢層群」からできています。そのため、火山噴出物を起源とする火山岩や堆積岩、生物の死骸などを起源とする石灰岩を見ることができ、こ

れもまたバリエーション豊かな特徴です。また、松田町の南部は、200万年前〜70万年前にかけて、次第に浅くなる海と陸域に堆積した「足柄層群」が大地をつくっています。

松田町は、プレートの動く力で、丹沢と伊豆の2つの地塊が衝突することによってできた土地なのです。

## 3 松田町と自然災害

1707年の富士山宝永噴火ではこの周辺は30〜60cmの火山灰が降りました。虫沢村では、翌年に田畑が土砂災害にみまわれています。その後、足柄平野では100年近くにわたって土砂洪水氾濫が繰り返し発生しました。

松田町は、大雨だけでなく、地震や噴火などが起こると、斜面災害が起こりやすい土地であるといえるので、災害時には、そうした地形を理解して、行動をすることが重要です。



講師の西澤さん

## 松田文化財探訪

### 松田の関東大震災 その7

文化財保護委員 桐生 海正

#### 稲郷堰堤

寄村は関東大震災で山林を中心にさんさんたる被害を受けました。山地が崩壊し、大量の土砂が川に流れ込み、土石流の危険性も高まっています。こうした状況で造られたのが、稲郷堰堤でした。「読本教材を主とする郷土資料」(以下、「郷土資料」)から詳細をみていきます。

たようです。いかに山地から大量の土砂が流れ込んだかがうかがえます。土砂災害を防いでくれるこの堰堤の完成に、地域住民はどれほど安心したことでしょう。「郷土資料」は最後に「夏に一度は必ず堰堤下に遊び思ふ存分水の豪壮さと涼気を味ひたい」と結んでいます。

私は溪流釣りを趣味としていますが、堰堤は「魚が釣れるポイント」としか見てきませんでした。こうした知識を持つてみると、堰堤の見え方も変わってくるはずです。堰堤も立派な震災遺構といえるでしょう。



現在の稲郷堰堤(寄地区)

も及びました。堰堤ができあがった当初は、水を満々とたたえていたようですが、昭和九(1934)年にはすでに、堰堤は土砂で満杯となってい